

パーキンソン病総合治療センター・神経内科および脳神経外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	脳深部刺激療法 adaptive DBS システムの最適な活用法の確立
研究機関名及び研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	パーキンソン病総合治療センター 助教 田口宗太郎
試料・情報の利用目的及び利用方法	【利用目的】 脳深部刺激療法 adaptive DBS システムの最適な活用法を確立することを目的としています。 【対象となる患者さん】 2020年4月1日から2026年12月31日までに愛知医科大学病院に通/入院された、adaptive DBS システムを導入されているパーキンソン病患者さん 【研究期間】 研究実施承認日 ~ 2027年3月31日 【利用方法】 対象となった患者さんについて、面談・診察・検査等の結果および治療内容についての情報を収集します。研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡お願い申し上げます。
利用又は提供する試料・情報の項目	試料：なし 情報：診療録に記載されている面談・診察・検査等の結果および治療内容等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年2月28日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 パーキンソン病総合治療センター

担当者：助教 田口宗太郎

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 23510)